



平成27年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰受賞団体

センスオブアース・市民による自然共生パンゲア からのお知らせ

みんな楽しい「かぜとなかよし」～風のかってすごいこと！～

折り紙のおり方、むずかしかったけどできたよ～



「風って何かのもとになっている」 高3の風～高島第三小学校1年生 53人 2月2日（火）3・4時間目

明日が節分、春を予告するような日差しが注ぐ2日、1年生が図書室で「かぜとなかよし」に取り組みました。子どもたちの気付きは、深いです。★風は何かのもとになっているのに気づいた。★風は上に行け場所行くほど強い。

★風は何かの共通点になっていた。★風は何かの役に立っているのびびっくりした。★雲梯から風が来た。★風は役に立つ。★強い風と弱い風があった。★風でタコなどが飛ぶのに気が付いた。

★風車で小麦粉を作っているのはびっくりした。★木は上の方が揺れている。★どうして、北風や西風があるんだろう。



集中してお話を聞く高小1年生



板八の風～板橋第八小学校2年生 34人 1月16日（土）1・2 時間目

学校公開の日、保護者の方が三々五々参観される中で、2年生が教室で、「かぜとなかよし」に取り組みました。自分のを後回しに、友達を助ける姿を見ました。★風は生活にも役に立つんだな。紙トンボがすぐ飛んだのでうれしかった。★私は風は寒くってきらいだったけど、自分で作って外で風と遊んだ。

風は見えないところで役に立っているんだな。★風車で遊んで走ったから楽しかった。★私は自然現象で風が来て意味はないと思ったけど、こんなに楽しく遊べるなんて思いませんでした。

◎担任 伊藤賢先生のお話「子どもたちも大変喜んでいました。保護者にも好評だったようです。子どもたちも風を単なる厄介者、寒いものという捉え方から、心地よいもの、役に立つものと捉えられたことが良かった。こうしたアプローチで低学年から環境教育ができる事があるのだと分かった。板橋区でもESDを含めた環境教育に力を入れていくことになっている。低学年から高学年までどんなことが段階的にできるのかが課題。学校としてもできる取り組みをしていきたい。





足でしっかりと煮た大豆をつぶしています

寒仕込み いたばし産 手前みそづくり

—新春、みそ造り講座—

主催 NPO法人いた・エコ・ネット
1月24日(日)エコポリスセンター 参加者 23人

NPO法人いた・エコ・ネットは昨年6月に設立されたばかりの、板橋区内外で活動するNPO環境団体です。センスオブアースも団体加盟し、理事も受けています。

手作りみそを初体験したい近隣の方々が集まって、初春の寒仕込み みそ造りを実施しました。(指導は寺田・柳・深須) 人生ベテラン組が集まった中に、若き女性が5人参加。みなさん、モンゴルから留学している学生や社会人の方です。板橋区内にモンゴル協会がある縁です。

みそ造りそのものはやさしいのですが、大豆を柔らかくする前日からの準備が大切。まず水洗い後、3倍の水に浸す。当日午前中に3~4時間柔らかくなるまで煮ること。ここまでできれば、あとはつぶしてから、こうじと塩を混ぜるだけ。

みなさん、楽しそうに作業され、笑顔がたくさん見られました。



一人ずつあいさつをする留学生のみなさん

心に残ったこと ★大豆は煮豆しか、頭になかった。みそ造りは自分でできるかもしれないと思った。★今まで、市販のものばかり食べていました。本日は自分で作った味噌カンゲキです。★簡単な手順だったので、自分でもやってみようと思った。★日本産の大豆がないということ。★みなさんとご一緒だと楽しく簡単でした。★カビ防止の方法(最後に上に塩を振る。焼酎に浸したキッチンペーパーなど)

これから取り組んでみたいこと ○買い物のときに国産を選ぶ。○日本産のものを買う。○値段が高くても日本産のものを食べていく。○なるべく日本



最後にたるに、よく混ぜたみそ玉を詰める

のものを使う。○今まで意識が足りなかったと反省。○野菜作りをしてみたい。○モンゴルの若者一味噌汁はとてもおいしくて家族も大好き。でも、インスタント味噌汁を買っている。これから、私はそれを自分自身で作ろうと思います。○味噌を作れるようになりました。モンゴルでみそを作ろうと思います。



終わりの挨拶 副理事長小林氏

北区滝野川第二小産手前みそづくり 1月19日



北区立滝野川第二小学校4組さんがみそ造りに挑戦しました。こちらの学校は創立106年を迎えたばかりの伝統ある学校です。4組さんは、特別支援学級です。

初めに大豆からできる食品を出しあったのですが、卵の花なんて、知らない子が多い時代なのにちゃんと知っているんです。風邪でお休みの方がいて、11人の児童が先生方とともに、10キロのみそ玉を作り上げました。この日、雪に埋もれていた校内の畑に案内

内されて行くと、なんと見事な大根の葉が鮮やかに雪の上に葉を広げているではありませんか。滝野川第二小産の大根を味噌汁に。生のまま、薄切りして、昨年仕込んで熟成したみそをつけていただくと、驚くほど大根が甘かったです。地産地消のすばらしさを子どもたちと味わいました。



おもしろかったことやわかったこと ★6年・大豆を踏んだこと・お味噌は大豆からできるようになった。・大豆は日本ではなかなかできないものです。★5年・大豆のに入った袋をい



ぱい踏んだこと・みその作り方がわかった・大豆を使ったいろいろなメニューもわかった。・大豆は日本では少ししか取れないこと。★5年・大豆を踏んだこと・みそ、豆腐揚げが大豆からできたこと・みそを作ったこと。★4年・踏んだこと・納豆と豆腐としょうゆが大豆からできる。・こねることでヨークこねて、投げるとぺたんぺたんすることがわかった。★4年・ボールを

作りました。形になるように作りました。★3年・おしょうゆが大豆からできること・お味噌ができるのが楽しみです。

★2年・だんごを作った。・大豆は色々なものになること・お味噌を早く食べたいです。



担任・支援の先生方—鶴山茂雄先生・袖山さやか先生・鈴木段先生・長森律子先生「大豆の



大切なことがよくわかった。大豆がとても身近な食物であり、日本の食にとって欠かせないものだということがわかった。」「みそを作った経験がないのでとても楽しい活動だった。大豆製品のクイズ→みそ造り→環境クイズの学習の流れのバランスが良く、最後まで集中して活動ができた。」

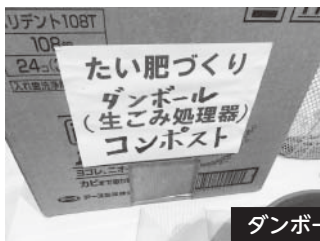
第15回環境なんでも見本市 ☺ 2月6～7日



センスオブアースの展示



城北公園四季の会 美しい景色が区内に



ダンボールコンポスト下方から取り出す仕掛け

エコポリスセンターで毎年実施されている環境の見本市。展示を見て歩くだけでたくさんの学習ができます。今年は参加58団体。訪問者2,861人。例年より、どこの展示団体も、参加者向けに手作りのワークショップをおこない、どの団体も積極的に楽しいアプローチ姿勢が見られました。センスオブアースも、昨年と同じ場所で、展示とワークショップを行いました。

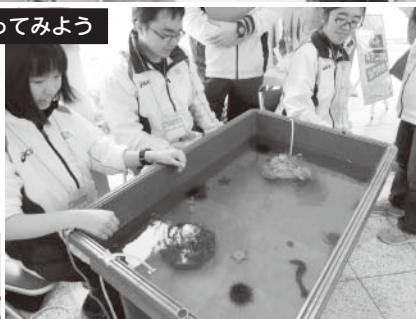


板橋区内で見られるチョウの見事な写真—アオスジアゲハは日本のチョウと教えていただきました。



赤塚第二中給食委員会の石鯰づくりの展示 高橋先生指導

生きものにさわってみよう



再生エネルギー発電所の分布



NPO法人いた・エコ・ネット 栽培のコットン



東京家政大学新関ゼミ3年生たち

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp